

世界人形行脚記 (九)

——世界教育大會より歸りて——

フレール館社長 高市次郎

▽水都ゼニス△

ファシズムの國、英傑ムソリニに就いて、或はファシストの種々な話なきは、下位春吉氏によつて羅馬の宿の旅の徒然を慰められ、時には談論風發して深更にさへ及びました。私達は翌朝七時三十五分、羅馬を後に、水の都ゼニスを訪れて、伊太利に於ける私たちのスケジュールを終るつもり。

午後八時ゼニス著。

水の都、ゴンドラの街、更にその狭い巷路巷路はあまりにも有名であり、見物のエトランゼーに忘れ難い情趣を満喫せしむるに十分である。

全市百五十有餘の島から成り、同數以上の大小の運河に

よつて四通八達。交通機關としては例の粹な形のゴンドラミ小蒸汽の僅かゞ見受けられます。兩側には高い建築がならび、ゼニス獨特の柱頭ミ迫り持の家々も見受られる。そしてその運河を私たちはゴンドラによつて通るのである。

夙に海港ミしてひらけた所で、昔は世界商業の中心地、十五世紀の頃は四十五艘の商船ミ一萬一千名の乗組員がゐる、各國ミも、その殷盛を極めた通商貿易にはひそかに羨望の眼を瞞つてゐたミいはれてゐます。併し、前に述べたやうに水に浮んだ町であるから、嘗て外敵の侵入を受けた事がなく、たゞ一度、大ナポレオンによつて屈服させられた事があるミいふ、それほミに水都ゼニスミしての堅固な要害ミ名譽ミを誇つてゐるわけでありませう。

平和郷であると共に、繪畫に、詩に、音樂にその情趣を讀へられてゐるゼニス、折からの夜の運河は、たぶく／＼とした水に灯影をうつして、オカリナの優雅な樂音こそきかね、ゴンドラの櫓の音が川靄にぼけてやはらかに聞えてゐました。

こゝでは到る所お土産品を賣つてゐます。ゴンドラの船楫を踏んで陸に上ればそこはもう薄暗い露路のやうになつてゐて仕事をやつてゐる、これを見乍らゆく工場があり、此の工場は大體細かい仕事をしてゐて、製作工程のはじめの方の粗ごなしは別に郊外の工場でやるこいふ。工場を抜けるご始めて營業所がある。

「いかゞです、段々ご御覽になつて、お氣に召した品が御座いましたら是非……」

と言つた工合ひ、それはく／＼抜け目なく出來てゐて、こゝが表通りになる。

斯うして硝子工場、玻璃器製造販賣所やあの高價なレース編み工場等があります。

硝子工場には、紅、青等の美しい切り子の器物、シャン

デリヤの裝飾としての頗る手のこんだ、文字通り燦然たる輝きを反射してゐる素晴らしい切り子細工が眼につきました。が、何ミ言つても、精巧に描かれて油繪を前に置いて、硝子の細い破片の如き微粒の一個一個をピンセットで運び乍ら、原畫の油繪を模して濃淡は更なり、そのトーンまでも忽にせず、忠實な模寫を爲す無名の一女流藝術家も云はれるであらうところのモザイク女工の緻密にして巧妙な手際を忘れるこゝは出來ない。

私はそこで小さい額面用のモザイクミ、和服の帶留用にご思つて極めて小さい——帶留の裝飾金具位の大きさ——を買ひましたが、相應高價なもので、額面はサンマルコ寺院を遠景にした大運河にゴンドラの浮ぶ風景、帶留の方はヴチカン宮殿を描いた極めて精巧且つ緻密なものであります。

レースの工場も亦硝子工場のやうな配置になつてゐて、僅に拇指頭大の所も、それはそれは女工の華著な器用な手先きで入念に編んでゐる所、その製品の高價なこゝを想はせる。婦人服飾品にして、邦價二百圓三百圓こいふのは普

通見られる價格であります。

その外皮革の加工も盛んに行はれてゐて、所謂きんから革の製造加工が専ら行はれ、ハンドバック、鞆、紙入等が澤山に拵へられ、然もまた藝術味の豊に溢れた豪華なものであります。その他、銀の細線を以て、前記のレース編みの如く作られ、器物の周縁を裝飾した、素晴らしい見事な精巧なものもある。

陶器も精緻な工作を施したもの、或は粗い雅味ある製品等を賣つて居り、其の他、銅の細工もの彫刻等澤山にお土産品として賣られてゐます。

『おはいりなさい』

『お土産お買ひなさい』

なま、私たちを日本人に見て巧みに日本語をもつて客を呼んでゐるには驚きました。

斯した店舗は頗る立派なもので、前記の硝子製品の陳列場など四五十坪もあらう言ふ所に、美しくきらびやかに列べてあります。そして其所の老爺の話による世界各地への輸出も莫大なものだといふが、成程その店舗の構から

推して、強ち東洋からの行脚の私たちの度臆を奪ふ法螺ののみは想はれませぬ。

▽サン・マルコ△

前にも記した通り、ゼニス街通りは曲折し不規則であり、人家の窓下に設けられたトンネルの如き、日中でも往々ランブが燈されてゐて小暗く、之をゆく中庭のやうな廣場があり、更に小さなトンネルがあり、これ等が立派な通路として、地面上に現はされてゐます。斯した抜け道、狭い通路しか持つてゐないゼニス市民、乃至は一般觀光客にまつて、眞に美しい伊太利の蒼空をながめ、背のびをすゝるここが出来るのは廣場であり、此の廣場がゼニスに於いて重要な意義をもつてゐます。殊にサン・マルコの廣場はサン・マルコ大寺の前に擴がつたゼニス第一の廣場で、全市の中樞でもあり、サン・マルコ運河を前にヅカレの舟つき場として此の町の心臓でもあります。頗る澤山の鳩が群れ遊んでゐて觀光客の身邊に飛んで来て可愛い親善ぶりを發揮する。此所の廣場に集ふ人々も各國人を網羅して其の数は夥しい。

サン・マルコ寺院は西紀八百二十九年の建立にかゝり、此の市の守護をするさいふ聖者マルコの遺骨を祀つた所で、北伊太利隨一の靈場であります。そしてその壯麗華美を極めてゐることは、その隣に位置するバラッオ・ツカールレ(舊政廳)の建物と共に、世界的に有名であります。

寺院の正面からその大天井、天井から壁、床に至るまでヅカールレの廻廊の石柱、廣間の格天井の壁畫、何れもモザイクならぬはない。夫れが油繪に於ける點描の如く、而もその材料による獨特の光輝ミ效果を以て旅行者の目を驚かすに充分であります。案内者はこれ等のモザイクに覆つた硝子の面積は實に四軒を次乘した廣さに及ぶ云ふ。

この寺院は十一世紀にビザンチン風に再築せられ、十六世紀に完成され現在に及んでゐる云ひます。

市長ドツチーが十字軍を指揮したさいふのも此所でありま

す。
ゼニス(Venice)は美術の都としても數々の寶玉の如き名畫が藏されてゐる所で、文藝復興期のカルパチオ、ジョルシオーチそれから十六世紀の伊太利が生んだ最大の畫家ティチアノ

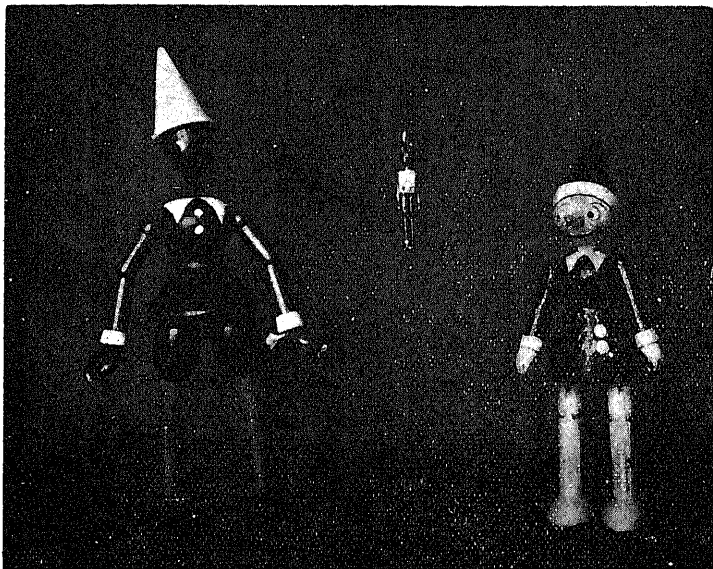
及びヴェロチーヌ等の作品が、アカデミヤの畫廊に又は市内の有名な寺等にあります。ティチアノの墓はサン・マリア寺院にあり、その内部は何れもその名作で飾られてゐましたが、かの「基督昇天の圖」は幽玄壯重な感じを以て觀者をして自ら頭を垂れしむる偉大なる力を感じしむるものであります。

▽ピノチオ△

伊太利はピノチオが全國の子供によろこばれてゐて、繪本になりお噺になり、玩具になり、又實に時計の下げ物にまでなつてゐます。

丁度、我が國に於ける「のんきなきうさん」の如く、それはく子供達によつて騒がれてゐます。ムソリニ氏を知らなくもピノチオは總ての子供はしつてゐます。

私はゼニスに於いてピノチオを幾つか買ひ求めました。茲に三個のピノチオを寫真にして掲げましたが、或る日、前に述べた通り、運河をゴンドラに揺れ乍ら、さある船付に舟をつけて飛び上るさ、其所に大きな丸い眼鏡をかけた好々爺らしいお爺さんが、小さい金槌を持つて、我國の金



オ　チ　ノ　ビ

上の寫眞に見えますオチノビ、右は伊太利製の木製、中央は十八金の時計さげに作られたもの、左端はチエツコスラバキヤ製の木製で、米國で需めたもの、他は何れもエニスで買ひました。

工屋さんのやうに、カチカチ仕事をやつてゐる。金色の金屬彫刻の完成品も狭い臺の上に並べてあつて、細工をし乍ら賣つてゐる。

私がお前に立つて觀てゐると、

「東洋のお客さん、一つお買ひ下さい」云ふらしいが、一向伊太利語で通じない。そしてお互に少しも判らない會話を交換した揚句私は

「8X」を書いてみせるに、「ノー、ノー！」云つてこの無名の老工匠、色をなして辯明大に努めてゐるが少しも判らず「18X」を書いて三十何リラといふ。お互に結構判つたやうな顔をして買つたのが、矢張り小さい可愛いオチノビの時計下け。而もこれが眞正の十八金で、其の工作も頗る精巧であります。兎に角、伊太利に於けるオチノビは子供の間に非常に人氣があります。